

報告（２）

令和２年第４回水戸市議会定例会質問及び答弁内容等について

１ 会期

令和２年１２月７日（月）から１２月２２日（火）まで １６日間

２ 本会議の状況

（１）発言通告の状況（教育委員会所管分）

区分	代表質問	一般質問
発言通告（全体）	４会派（６会派）	３議員（１４議員）

（２）質問及び答弁内容 ９項目 １１件

区分	質問内容
学校教育部門 （６項目 ８件）	ＩＣＴ教育について※（３件） 少人数学級について※（１件） 屋内運動場へのエアコン設置について※（１件） 学力向上について※（１件） 教員の資質向上について※（１件） 本市中学校の取組について※（１件）
社会教育部門 （１項目 １件）	中央図書館の在り方について※（１件）
子育て支援部門 （２項目 ２件）	開放学級について（１件） 保育士確保策について（１件）

※は、代表質問の質問内容が含まれている項目

(3) 質問及び答弁要旨

代表質問

質問者：新生水政改革水戸 小泉 康二

答弁者：市長，教育長

1 教育行政について

(1) 学校教育におけるデジタル化，G I G Aスクール構想の実践について

質問内容：I C T教育について

担当課：総合教育研究所

【質問要旨】

本年9月の定例会でタブレット端末の取得を議決したが，G I G Aスクール構想を実践するためには，どのように授業で活用していくかのカリキュラムをしっかりと定め，教員が習熟していく必要があると思うが，実質的に配備される新年度に向けて，その進捗はどのようになっているのか伺う。

また，タブレット端末の利活用の幅を広げるために大型モニターの整備や，教員や児童生徒の支援のためにI C T支援員の配備についても検討が必要であるが，その考えについて伺う。

さらに，導入するソフトの有効活用や，インターネットから得られる情報の危険性（R指定への対応や性への興味の低年齢化）について，どのような対策を行っていくのか伺う。

【答弁要旨】

市長

学校教育におけるデジタル化，G I G Aスクール構想の実践についてお答えいたします。

情報技術は，日々飛躍的に進歩しており，社会は急速に変化しております。このような変化の先にある社会を生きる子どもたちにとって，I C T機器の活用と情報活用能力の育成は必須であります。

本市では，「魁のまちづくりNEXTプロジェクト」の1つである「未来への投資プロジェクト」において，「水戸スタイルの教育の推進」を位置付け，**I C Tを活用した情報教育を強力に推進しております**。そのため，**今年度中の1人1台端末や高速大容量通信ネットワークの整備に向けて取り組んでいるところであります**。

今後整備されるI C T機器を，効果的に学習に生かしていくことが重要であり，単なる操作方法的習得ではなく，考える力の育成など人間性を磨き上げるために活用を図ってまいります。

また，感染症だけでなく災害等における学校の臨時休業が生じた際や不登校児童生徒などに対しても，家庭や子どもたちと学校をつなぎ，双方向のオンライン授業等の遠隔授業により，学びを保障する環境づくりも推進しております。

現在，G I G Aスクールサポーターを配置し，円滑な導入に向けてのマニュアル作り等を行っておりますが，**今後は，1人1台端末を一層有効に活用するため，普通教室への大型モニターの整備やI C T支援員の増員を図ってまいります**。

私は，整備したI C T機器を最大限に活用し，子どもたちが高度な情報化社会において，様々な情報を活用し世界で活躍するために必要な能力の育成に取り組んでまいります。

教育長

小泉議員の代表質問のうち、学校教育におけるデジタル化、GIGAスクール構想の実践についてお答えいたします。

1人1台端末を活用する上で、教員への研修は非常に重要であると認識しております。そのため、市内全ての学校長を対象に、文部科学省が委嘱するICT活用教育アドバイザーによるオンライン研修や、教員を対象に1人1台端末を活用した授業などの公開を行ってまいりました。

さらに、市内を5ブロックに分け、校長から推薦された教員をGIGAスクールプロジェクトリーダーに任命し、授業におけるタブレット端末の効果的な活用事例について研究をしております。

一方、1人1台端末の導入により、御指摘のとおりインターネットを介して有害な情報に触れることが懸念されます。そのため、タブレット端末にフィルタリングをかけ、有害なサイトへのアクセスを制限するとともに、SNSによるトラブルなどを、自ら防ぐことができるよう、情報モラル教育の充実を図ってまいります。

今後につきましては、タブレット端末に導入する授業支援ソフトやAIドリルなどを、学習場面に応じて効果的に活用が図れるよう、研修を行ってまいります。また、「複数の意見を映し出して比較できる」、「双方向によるオンライン授業ができる」など、全ての教員が目指すべき目標を設定し、段階的にスキルの向上を図ってまいります。そして、来年度からの授業で本格的なICT活用ができるよう、準備を進めてまいります。

代表質問

質問者：公明党水戸市議会 五十嵐 博

答弁者：教育長

1 教育行政について**(1) 少人数学級について**

質問内容：少人数学級について

担当課：学校管理課

【質問要旨】

ポストコロナ時代を見据えた教育においては、感染症対策の充実や心のケアなど、子どもたちが安心して学べる環境の整備が急務であり、子どもたちの特性や学習状況、家庭環境に応じたきめ細かな教育を推進するためにも、小中学校における1クラス30人以下の少人数学級の推進が必要と考える。

そこで、本市における現状と今後の取組について見解を伺いたい。

【答弁要旨】

五十嵐議員の代表質問のうち、教育行政についてお答えいたします。

少人数学級についてでございますが、少人数学級は通常の40人学級と比べ、一人ひとりに目が行き届きやすく、学習面や生活面でのきめ細かな指導が行えるとともに、今般のコロナ禍における感染防止にも有効であると認識しております。

本市では現在、小学校1年生・2年生につきましては、法律で定められた国の標準と県の少人数教育充実プラン推進事業により、全て35人以下の学級となっております。

また、小学校3年生から6年生及び中学校につきましても、それぞれの学年で35人を超える学級が3学級以上ある場合には、学級を増設し、担任教員1名を配置しており、35人を超える学級が3学級未満の場合におきましても、各学級に非常勤講師1名を配置しております。さらに、中学校につきましては、これらの配置に加え、学級増になった学校に対し、非常勤講師1名を配置しております。

議員御提案の30人以下の学級につきましては、現在、小学校で約59パーセント、中学校で約40パーセントとなっております。全ての学級を30人以下にすると想定いたしますと、小学校で75学級、中学校で27学級の増加が見込まれます。そのため、学級数の増加に伴い、100人を超える教員の配置や教室の整備などが必要となりますことから、国・県による制度の整備が必要でございます。

国におきましては、令和3年度予算の概算要求において、学級編制の標準の引き下げを含め、少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備等について、事項要求しているところでございます。

今後におきましては、全国市長会議において、少人数学級について後退することなく、引き続き、その推進を図るよう国に対して提言しておりますが、**全国都市教育長協議会におきましても、法整備による少人数学級の早期実現について要望しているところであり、引き続き、国の動向を注視してまいります。**

(2) 小中学校体育館の空調設備について

質問内容：屋内運動場へのエアコン設置について

担当課：学校施設課

【質問要旨】

茨城県や県外の他の自治体において、夏季の熱中症対策等を図るために、学校体育館への空調設備導入の動きが見られる。

災害時には避難所ともなる学校体育館への空調設備導入については、早急な対策が重要であると考え、見解を伺う。

【答弁要旨】

小中学校体育館の空調設備について、お答えいたします。

市立学校における空調設備につきましては、近年の記録的な猛暑への対応や、熱中症対策など、児童生徒及び教職員の体調管理に配慮した学校の環境づくりが重要であると認識しており、平成30年度までに、児童生徒が一日の大半を過ごす普通教室及び特別教室への空調設備の整備を完了いたしました。

空調設備の県内設置率につきましては、本年9月1日現在で、普通教室は100%となっているものの、特別教室については63.9%にとどまっているところであり、本市は整備が完了した12市町村のうちの一つとなっております。

一方、**体育館については、空調設備の県内設置率が0.8%であり、本市においても未設置であることから、学校の希望に応じて大型扇風機を設置するとともに、小まめな休憩や適切な水分補給についての指導を徹底するなど、暑さ対策に努めているところでございます。**

体育館につきましては、児童生徒が体育の授業や部活動で使用するほか、災害発生時において避難所としても利用されるもので、茨城県においては、県立高校全ての体育館メインアリーナに空調設備を整備するための補正予算案が県議会に提案されたところであり、空調設備の必要性については認識しております。

しかしながら、**体育館へ空調設備を整備するためには、効率的な冷暖房を行うために必要となる施設の断熱性能の確保や、電気容量の増設、ランニングコストを考慮した効果的な空調設備の運用のためのルールづくり等、様々な課題がございます。**

また、設置に一定の時間を要することから、工事期間や整備手法、既に導入している普通教室及び特別教室の空調設備の更新時期との調整等についても検討する必要がございます。

そのため、体育館の空調設備に関しましては、県内外の空調設備設置事例を検証するとともに、様々な課題について関係部署とも協議を重ねながら、引き続き調査・研究を進め、より良い教育環境の創出に努めてまいります。

代表質問

質問者：魁，水戸 木本 信太郎

答弁者：市長

1 文化行政について**(1) 水戸市立中央図書館，水戸市立博物館，水戸市平和記念館について****ア 隣接した地域にあり，以前から機能の重複が指摘されている県立図書館との違いについて****イ 中央図書館，博物館，平和記念館の今後の在り方について**

質問内容：中央図書館の在り方について

担当課：中央図書館

【質問要旨】

県立と市立における図書館のサービスや機能の違いは何か。

また，機能の重複と中央図書館の適正配置についてどのような検討を進めてきたのか。

さらに，中央図書館，博物館，平和記念館の今後の在り方について伺う。

【答弁要旨】

水戸市立中央図書館，水戸市立博物館，水戸市平和記念館に関する御質問について，お答えいたします。

はじめに，県立図書館と市立図書館との違いについてですが，県立図書館につきましては，県内全域を対象とした上で，公共図書館等と密接な連携を図りながら，社会の進展に対応した利用環境の工夫・改善やより専門性の高い図書館資料の収集整備を行い，県民の生活の向上及び文化の発展に寄与することが運営の方針となっております。

一方，市立図書館につきましては，中央図書館及び地区館5館を有する本市ならではの地域性を生かした図書館運営に向けて，利用者の状況を踏まえたサービスや各地区の特性，ニーズに応じた資料の収集，提供などを行っております。

また，**県立図書館と近接する中央図書館の配置に関する検討内容及び施設の今後の在り方について**ですが，昭和55年に開館した中央図書館及び博物館につきましては，施設や設備の老朽化が進み，安全性確保などの課題が生じたため，平成26年度に施設整備の在り方に関する検討を行い，当面の間は現施設での運営を行うこととし，耐震改修や設備更新を行ったところであります。

この検討においては，県立図書館との関係について課題の一つとするとともに，図書館，博物館の建替等に伴う財源の確保や施設の在り方なども課題とされ，今後，諸課題を整理しながら具体的な検討を行っていくこととしたところであります。

なお，中央図書館が現在地で開館している中においては，中央図書館としての個性を強化し，県立図書館との役割，特色の違いを明確にしていく必要があるものと認識しております。

したがいまして，中央図書館におきましては，中央地区における地区館としての機能はもとより，本市に関する貴重な郷土・行政資料の収集に力点を置き，利用者の多様なニーズに応えるための約45万冊の所蔵資料の充実を図るとともに，学校図書館の運営支援や市民センター等への資料の貸し出し，地区館に対する指導など，本市の図書館行政の中心としての役割を果たしてまいります。

議員御質問の中央図書館、博物館、平和記念館の今後の在り方につきましては、あらゆる可能性を視野に入れながら総合的に判断する必要がありますので、次期総合計画を策定していく中で検討してまいります。

代表質問

質問者：県都市民クラブ 袴塚 孝雄

答弁者：教育長

1 教育行政について

(1) 本市の教育は水戸教学、魁の教育等様々な教育目的を掲げて学力向上を図ってきた。今回の調査によれば県平均より下落してしまったがその向上策は。

質問内容：学力向上について

担当課：総合教育研究所

【質問要旨】

本市では「水戸スタイルの教育」として、様々な教育目標を掲げ、取り組んできたが、学力が低下している。その要因と児童生徒の学力を向上させるための方策について伺いたい。

【答弁要旨】

袴塚議員の代表質問のうち、教育行政についてお答えいたします。

はじめに、**本市の学力向上策についてですが**、本市においては、「水戸を愛し、世界で活躍できる人材の育成」を基本理念とする**水戸市教育施策大綱に基づき**、一人一人の確かな学びと夢を実現する「水戸スタイルの教育」を掲げ、4つのプランによる教育活動を推進しております。確かな学びと学習意欲を高める「チャレンジプラン」では、個に応じたきめ細かな学習指導のために**学力向上サポーターを全校に配置するとともに**、本市独自の英会話教育の実現のために**AETを全校に配置するなどの取組**をしております。

しかしながら、令和元年度に実施された県学力診断のためのテストの結果を県の平均正答率と比較すると、小学校6年生の4教科平均では、マイナス3.4ポイント、中学校3年生の5教科平均では、プラス0.3ポイントという結果となり、**小学校6年生の平均正答率が県の平均正答率を下回っております**。その要因として、**根拠をもとに自分の考えをまとめ、説明する力が不足している傾向が見られました**。児童生徒に自分の考えを書く力を身に付けさせるためには、授業の改善が必要であり、これまでの知識だけを教え込む授業から、**学んだことを日常生活に応用できる力を身に付けるための授業への転換が必要であると認識**しております。

本市では、本年度より中核市として、初任者から3年目までの若手教員や、6年目と12年目の中堅教員を対象とした本市独自の研修を実施しており、より良い授業をつくるための研修等を通して、教員の授業力の向上を図っております。また、総合教育研究所の指導主事による定期的な訪問指導に加えて、学校からの要請に応じ、指導主事が模範授業を行うなど、授業の改善に努めているところでございます。

これまで同様、児童生徒一人一人を大切に**した補充的な学習や発展的な学習など**、習熟度に応じた指導に努めてまいります。

今後は、これらの取組を検証し、学力向上に向けた取組をさらに充実させてまいります。

(2) 令和3年度スタートのタブレット活用のICT教育の在り方について	
質問内容：ICT教育について	担当課：総合教育研究所
<p>【質問要旨】</p> <p>本市では、タブレット端末の導入が決定し、教師のICT活用能力の向上が喫緊の課題である。ICTを有効に活用した授業を展開する取組について伺いたい。</p>	
<p>【答弁要旨】</p> <p>令和3年度スタートのタブレット活用のICT教育の在り方について、お答えいたします。</p> <p>1人1台端末を活用する上で、教員への研修は非常に重要であると認識しております。そのため、市内全ての学校長を対象に、文部科学省が委嘱するICT活用教育アドバイザーによるオンライン研修や、教員を対象に1人1台端末を活用した授業などの公開を行ってまいりました。</p> <p>さらに、市内を5ブロックに分け、校長から推薦された教員をGIGAスクールプロジェクトリーダーに任命し、授業におけるタブレット端末の効果的な活用事例について研究をしております。</p> <p>今後につきましては、タブレット端末に導入する授業支援ソフトやAIドリルなどを、学習場面に応じて効果的に活用が図れるよう、研修を行ってまいります。また、「複数の意見を映し出して比較できる」、「双方向によるオンライン授業ができる」など、全ての教員が目指すべき目標を設定し、段階的にスキルの向上を図ってまいります。そして、来年度からの授業で本格的なICT活用ができるよう、準備を進めてまいります。</p>	
(3) 教師の資質向上策について	
質問内容：教員の資質向上について	担当課：総合教育研究所
<p>【質問要旨】</p> <p>「教育は人なり」の言葉どおり、学校教育は教師の資質に負うところが極めて大きいと考える。指導に課題のある教師の資質向上を含めた本市における教師の資質向上の取組について伺いたい。</p>	
<p>【答弁要旨】</p> <p>教師の資質向上策について、お答えいたします。</p> <p>優れた教員には、教育に対する強い使命感と情熱があります。これは児童生徒に対する愛情の現れであり、その具体的な姿勢が、面倒見のよさや、厳しい中にも温かな気配り等となります。</p> <p>本市においては、教員の資質として「使命感」「専門性」「信頼」を3つの柱とした目指す教師像の実現のため、若手教員と中堅教員のキャリアステージに即した研修体系を整備し、本市の実情に応じたよりきめ細かな研修の機会を確保しております。</p> <p>また、私自身も、市内全ての学校を訪問し、授業を見て、教員の指導力の差を感じました。そこで、指導力に不安のある教員に対しては、指導主事が積極的に学校を訪問し、授業改善やコミュニケーション力、チームで対応する大切さ等を個別に指導することで、改善を図ってまいります。</p> <p>これらの研修を通して、使命感の醸成や高度な専門的知識の習得、豊かな人間性や社会性を身に付けた信頼される教員の育成を目指し、資質能力の向上に努めてまいります。</p>	

(4) 中高一貫校がスタートするが、本市中学校の取組について

質問内容：本市中学校の取組について

担当課：総合教育研究所

【質問要旨】

令和3年度から水戸一高に附属中学校が開校するが、中高一貫校に負けない本市の中学校の教育の在り方について伺いたい。

【答弁要旨】

中高一貫校スタートに伴う本市の中学校の取組について、お答えいたします。

令和3年度から水戸一高に附属中学校が開校することに伴い、本市といたしましては、市教育会教科領域部員会での教員同士の交流をはじめ、ICTを活用したオンライン授業で生徒同士の交流を積極的に行うなど、互いに切磋琢磨しながら、教員の資質向上と生徒の学力向上を図る取組を検討しております。

これまで、本市では、義務教育9年間を見通した小中一貫教育や地域とともにある学校づくりを目指したコミュニティ・スクールの全校導入など、魅力ある学校づくりに取り組んでおります。

今後も、9年間の学びの連続性を重視した学習指導の充実を図りながら、高校教育への円滑な橋渡しができるよう、学習支援に注力してまいります。さらに、地域との協働による学校のさらなる魅力の創出と児童生徒の夢や希望をかなえる教育の実現に努めてまいります。

一般質問

質問者：日本共産党水戸市議団 土田 記代美

答弁者：教育部長

1 教育行政について

(1) 開放学級の民間委託について

質問内容：開放学級について

担当課：放課後児童課

【質問要旨】

民間委託の検証等も十分でないと思うが、民間委託の全市への拡大は性急すぎるのではないか。また、民間委託に際し、支援員への説明が不足していると思うがいかがか。開放学級については、民間事業者のサービスとなじまないため、直営で実施するべきと思うがいかがか。

【答弁要旨】

土田議員の一般質問のうち、開放学級の民間委託についてお答えいたします。

本市では、ハローワークへの求人、市ホームページの活用、保護者に対しての募集案内等を行いました。支援員が確保できず、最も多くの待機児童が生じていた梅が丘小学校において、6年生までの受入れ拡大及び待機児童の解消並びに事業内容の質の向上を目指し、令和元年度に民間活力活用モデル事業を実施いたしました。その結果、6年生までの全ての対象児童の受入れが可能となり、同校の待機児童が年間を通じてゼロになるとともに、放課後子ども教室の充実が図られました。

このモデル事業の成果を踏まえ、開放学級利用児童の保護者、市PTA連絡協議会の役員、学校関係者、学識経験者、支援員等に、開放学級及び放課後子ども教室の今後のあり方について、広く御意見を伺いました。その中で、近接する複数校単位で民間委託することで、学校間の相互連携による支援員の弾力的な配置により、待機児童の解消や対象学年拡大のための課題となっていた支援員の確保が可能となり、開放学級の安定的な運営に向けて、民間委託は有効であるとの御提言をいただきました。

これを踏まえ、今年度、学級数の約半数にあたる35学級の開放学級及び放課後子ども教室の運営の民間委託を実施し、放課後等に子どもたちが安心して過ごすことができる居場所を提供する開放学級の待機児童ゼロを初めて達成することができました。

近年、核家族化や共働き世帯の増加等、家庭を取り巻く環境が大きく変化しておりますことから、今後においても、開放学級のニーズは高まるものと予想されます。そのため、待機児童ゼロの継続を目指し、速やかに民間委託の全市拡大を進めてまいりたいと考えております。

また、民間委託にあたっての支援員への説明につきましては、対象となる開放学級の支援員に対し、業務委託仕様書において「開放学級業務従事者の処遇については、本市の報酬額を下回らないようにするなど配慮すること」としていることなど、随時、民間委託に係る情報を提供するとともに、訪問指導員を定期的に巡回させ、不安やトラブル等に対する相談や支援にあたっております。今後におきましても、悩みや不安を感じることなく、業務に従事できるよう、丁寧に対応してまいります。

今後におきましては、開放学級の待機児童ゼロの継続をはじめ、誰でも参加できる放課後子ども教室の実施回数の増加や、学習支援の充実を図るとともに、全ての開放学級の開設時間を午後6時30分までに延長するなど、保護者のニーズに応じたサービスを提供し、放課後等における児童の健全育成を一層推進してまいります。

一般質問

質問者：民主・社民フォーラム 佐藤 昭雄

答弁者：教育部長

1 子育て支援の充実について

(1) 保育士の確保策について

ア 保育サービスは子どもの健やかな成長を支える大切なインフラであり、コロナ禍で親子の不安を和らげるためにも、保育の充実が必要と考えます。保育士確保策の現状と支援策は。

質問内容：保育士確保策について

担当課：幼児教育課

【質問要旨】

保育サービスは、子どもの健やかな成長を支える大切なインフラであり、特に保育所の充実が求められているが、保育士不足により児童を定員まで受け入れられないことが課題となっている。

そこで、本市での保育士確保と保育士の処遇改善に向けた取組について伺いたい。

【答弁要旨】

佐藤議員の一般質問のうち、保育士の確保策について、お答えいたします。

本市では、保育所待機児童の解消に向け、民間保育所や小規模保育施設の整備を行うなど、受け皿の確保に努めておりますが、**保育士不足により、定員まで児童を受け入れられないことが、待機児童が発生している大きな要因の一つであると認識しております。**

そのため、本市では、**保育士確保のための市独自の取組として、平成 29 年度に「保育士等就労支援補助金」を創設し、1年以上保育の現場から離れていた保育士が、市内の保育所等へ就労した際に、10万円の補助を行うとともに、令和元年度からは、「新卒保育士等就労奨励補助金」を創設し、市内保育所等に就労内定となった学生に対し、2万円の奨励金を支給しております。**

これらの制度により、これまでに合わせて136人の保育士を確保しております。

また、民間保育所に勤務する保育士が、長く働くことができる職場環境をつくることを目的に、施設型給付において、昇給や賃金改善に加え、技能や経験に応じた役職を設けて、キャリアアップの仕組みを構築するための処遇改善等加算の活用を促進するなど、賃金体系の改善を図っております。

さらに、**保育士の負担を軽減し、働きやすい環境をつくるため、平成 30 年度に「保育体制強化事業」を創設し、これまで保育士が行っていた給食配膳や清掃、寝具の用意などの業務を行う、保育支援者を雇用する民間保育所に対し、補助金を交付しております。**

令和2年度からは、新たに「保育補助者雇上強化事業」を開始し、**保育士資格取得を目指す方を保育補助者として雇用している民間保育所に対し、補助を行っております。**

また、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止しておりますが、大学等に出向いての保育士就職説明会をはじめ、ハローワーク水戸との連携事業である「職場体験講習会」や「保育の職場見学ツアー」を実施しております。

今後におきましても、保育所待機児童の解消に向け、これらの取組を積極的に進め、保育士確保と処遇改善に努めてまいります。

一般質問

質問者：公明党水戸市議会 森 正慶

答弁者：教育部長

1 教育行政について

(1) 小中学校のGIGAスクール、ICT教育について

ア タブレット端末導入及び通信環境の整備、GIGAスクールの準備状況について

イ GIGAスクールサポーター、ICT支援員の配置計画について

ウ タブレット端末の活用方法、オンライン学習、デジタル教材の充実について

質問内容：ICT教育について

担当課：学校施設課

総合教育研究所

【質問要旨】

導入されるタブレット端末の種類、導入スケジュール、通信設備・環境の整備状況について伺う。また、授業内容や個人情報流出防止策などのルール作りといった、ソフト面のGIGAスクールの準備状況について伺う。

また、国は、GIGAスクールサポーターやICT活用教育アドバイザーなどの支援事業を行っており、さらに、「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」により、ICT支援員の配置を含めた地方財政措置をしている。本市におけるGIGAスクールサポーターやICT支援員の配置計画についての見解を伺う。

さらに、タブレット端末の活用方法について、臨時休業期間だけでなく、長期休業期間などに持ち帰ることによって、予習復習や双方向のオンライン学習などに大いに活用できると考えるが、端末の活用方法についての見解を伺う。加えて、不登校児童生徒へのタブレット端末の活用や遠隔教育による学びの充実を図るべきと考えるが、見解を伺う。

【答弁要旨】

森議員の一般質問のうち、小中学校のGIGAスクール、ICT教育についてお答えいたします。

初めに、タブレット端末導入及び通信環境の整備についてですが、**現在、GIGAスクール構想の早期実現に向け、児童生徒1人1台の学校教育用タブレット端末と高速・大容量の校内情報通信ネットワーク、さらには、通信環境がない家庭に貸し出すモバイルルータの整備を進めているところでございます。**

タブレット端末の導入に当たりましては、国の「GIGAスクール構想の実現 標準仕様書」で示されたマイクロソフト社の「ウィンドウズOS(オーエス)」、グーグル社の「クロームOS(オーエス)」、アップル社の「iOS(アイ・オーエス)」の3つのオペレーション・システムを比較検討した上で、「クロームOS(オーエス)」で動くクローム・ブックを選定いたしました。

今回導入するクローム・ブックは、画面サイズが11.6インチで、一般的なノートパソコンと同じ形ですが、キーボードを画面の裏側に折り返して、タブレットとしても使用できる端末となっております。授業等で日常的に活用されることを想定し、立ち上がりが早く、使いたい時にすぐ使うことができ、子どもたちが誤って落としてしまっても壊れにくいなどの高い耐久性を備え、ウイルス対策も万全な端末でございます。

タブレット端末の導入スケジュールにつきましては、令和3年1月から、順次、各学校に配備

を進め、2月下旬には、全ての学校に行き届く予定としております。

また、通信環境の整備につきましては、総合教育研究所を經由してインターネットに接続する現在の方式では、児童生徒1人1台端末の同時運用が難しいことから、十分なセキュリティを確保した上で各学校から直接インターネットに接続する方式に変更し、高速で安定した通信環境を実現してまいります。

通信環境の整備スケジュールにつきましては、これまでに、工事を実施するための設計が完了しており、年度内の完成を目指し、工事を進めてまいります。

次に、GIGAスクールの準備状況について、お答えいたします。

1人1台端末を活用する上で、教員の研修は大変重要であると認識しており、市内全ての学校長を対象に、文部科学省が委嘱するICT活用教育アドバイザーによるオンライン研修や、教員対象のタブレット端末を活用した授業公開など、研修の充実に努めてまいりました。

また、市内を5ブロックに分け、学校長から推薦された教員をGIGAスクールプロジェクトリーダーに任命し、授業におけるタブレット端末の効果的な活用事例についての研究を進めております。

今後におきましても、「双方向によるオンライン授業ができる」など、全ての教員が目指すべき目標を設定し、段階的にスキルの向上を図り、ICTを活用した授業が効果的に進められるよう、準備を進めてまいります。

次に、GIGAスクールサポーター・ICT支援員の配置計画について、お答えいたします。

GIGAスクールサポーターにつきましては、国の補助制度を活用し、現在10名のサポーターを配置しており、各学校での校内研修の準備や、端末の使用マニュアルの作成、個人情報の流出防止のルール作りなどを行っております。

また、ICT支援員につきましては、現在4名を配置しており、各学校を訪問し、授業支援や教員研修、ICT機器のインターネット接続等のトラブルに対応しております。

今後、約2万台のタブレット端末が整備されますので、学校から、数多くの派遣要請があると想定されます。そのため、ICT支援員の大幅な増員について検討してまいります。

次に、タブレット端末の活用方法、オンライン学習・デジタル教材の充実について、お答えいたします。

文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会において、対面指導と遠隔・オンライン教育とのハイブリッド化による指導の充実など、ICTの持つ可能性についての検討が進められております。このような国の動向を踏まえ、本市においても、タブレット端末の持ち帰りのルールづくりを含め、ICT機器をより効果的に活用できるよう、ソフトの充実についても検討を進めてまいります。

議員御指摘のように、1人1台端末の導入により、学校内のみならず、校外においても、多様な学びが可能となります。

今後におきましては、不登校児童生徒に対してのデジタル教材を活用したオンラインによる学習支援や、学校と外部施設を接続しての施設見学、外部講師による遠隔授業など、ICT機器を最大限に活用した様々な取組について検討を進め、子どもたち一人一人が自分の力を最大限に発揮し、伸ばしていく質の高い学びの実現に努めてまいります。

その他（１）

35 人学級導入への対応について

1 35 人学級導入の概要

学 年	現 行		義務標準法 改正案
	義務標準法	県 学級編制の弾力化（水戸市）	
1 学年	35 人学級	35 人学級	35 人学級
2 学年	40 人学級		40 人学級 ※35 人超の学級が 3 学級 ⇒ “1 学級増”
3 学年		R 4 年度から 35 人学級	
4 学年		R 5 年度から 35 人学級	
5 学年		R 6 年度から 35 人学級	
6 学年		R 7 年度から 35 人学級	

「義務標準法」：公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律

「県 学級編制の弾力化」：茨城県少人数教育充実プラン推進事業による学級編制の弾力化

2 本市における 35 人学級導入に伴う影響

(1) 教員数

現行の教員配置基準をもとに試算すると、学級数の増加により、新たに必要となる教員数は、13 人（R 3 年度から R 8 年度までの最大値）である。

新たに必要となる教員数（R 3～R 8 年度）

	現行 (R 2 年度)	改正後 ※R 6・7 年度がピーク	現行からの増減
教員配置数	557 人	570 人	13 人

(2) 教室数

① 35 人学級導入に伴い対応が必要な学校

35 人学級の導入により、必要となる教室数が増加するが、少子化の影響や余裕教室、コンピューター室の転用等により対応が可能である（増築等の対応が必要な学校はない）。

② 児童数の増加により校舎増築等を実施している学校

現時点で、既に 35 人学級となっている学校が多く、35 人学級導入による影響はないが、今後においても、児童数の推移を注視する必要がある。

その他（2）

水戸市立博物館開館 40 周年記念特別展

「昭和浪漫 思い出の宝石箱」の開催について

1 概 要

昭和 30 年代から 40 年代は、戦後の復興が進み、日本経済も高度成長期を迎え、日本人の生活様式も変化してきました。生活を便利にする電気製品や自動車が普及してきたこの時代が、現代の私たちの便利で快適な生活へとつながる原点といえます。

展覧会では、もはや遠くになった昭和 30～40 年代の暮らしの変化と、かつての水戸の賑わいを様々な民俗資料や当時を再現した創作人形等でたどります。

2 会 期

令和 3 年 2 月 6 日（土）～ 3 月 14 日（日）

※月曜休館

3 会 場

水戸市立博物館（水戸市大町 3－3－20） 4 階・3 階展示室

4 主な展示資料

旧水戸市役所南三の丸庁舎の写真パネル・航空写真、昭和 40 年頃の水戸駅周辺の模型、昭和 30～40 年代の水戸商店街のチラシ、昭和の風俗人形等

5 入 場 料

一般 200 円（20 名以上の団体料金 150 円）

18 歳以下、65 歳以上、障害者手帳・療育手帳等所持者とその付き添い 1 名は無料

その他各種割引あり

6 主な関連行事

- ・ 「昭和・ミニフェスタ」
日時：2 月 11 日（木） 11：00～15：30
会場：博物館 2 階展示室
内容：ちんどん屋さんの練り歩き、まつり太鼓、バルーンアート等
- ・ 「昭和のボンネットバスを作ろう！」
日時：2 月 21 日（日）、2 月 28 日（日）
各日とも 10：00～、13：00～
会場：中央図書館 3 階視聴覚室
講師：高村晴幸氏（博物館ボランティア）
※その他イベントの詳細は、別添チラシ参照

その他（3）

ICT教育の取組状況について

1 1人1台端末及び校内LAN整備について

(1) 整備内容

- ① 児童生徒1人1台の学校教育用タブレット端末の配備
- ② 校舎内への通信速度1Gbpsのネットワーク（LANケーブル等）の整備
- ③ 各普通教室等へのタブレット端末を充電保管するキャビネットを設置

(2) 整備状況

① タブレット端末

購入機種 HP Chromebook
(11.6インチ, Google Chrome OS)

購入台数 20,500台

付属ソフト ベネッセ「ミライシード」
(授業支援ソフト, AIドリル等)

納入期限 令和3年2月19日



② ネットワーク整備

令和3年3月を目途に、校舎内のLANケーブル等の整備工事を実施予定

(3) その他

通信環境のない家庭に対し貸し出すためのモバイルルーター2,000台を購入

2 GIGAスクールに関連する組織等

(1) GIGAスクールプロジェクトリーダー

市内5ブロックの学校長から推薦されたICTに長けた教員等17名をGIGAスクールプロジェクトリーダーとして任命し、ICTを使った効果的な授業の研究等を行っている。今後は、GIGAスクールプロジェクトリーダーが各ブロック内の校内研修の講師として研修を実施していく。

(2) GIGAスクールサポーター

ICT関係企業のOBなどICT環境整備等の知見を有する者10名を令和2年12月から総合教育研究所に配置し、児童生徒や教員用のアカウントの作成や、児童生徒用の使い方ハンドブック、教員用の活用マニュアル等の作成を行っている。

今後、各学校で教員への使用方法の周知や、端末の納品における対応等を行う。

3 教員の活用目標

(1) Stage 1 (～令和2年度)

[一斉授業, 個別活動による活用]

- ・(一斉) 大型提示装置への教材の提示 (教員画面の提示, 児童生徒画面の共有)
- ・(個別) インターネットによる調査活動
- ・(個別) カメラによる撮影, QRコードの読み込み
- ・(個別) AIドリル (ドリルパーク) の活用

[非常時における活用]

- ・オンライン授業 (ウェブ会議システム Google Meet 等の接続)

※ Stage 1～3をもとに, 教科ごとの活用イメージを令和2年度中に作成, 配布

(2) Stage 2 (～令和3年度)

[協働学習や話し合い活動による活用]

- ・(協働) 授業支援ソフトを活用 (意見整理, 発表や話し合いなど)
- ・(個別) アンケート機能を活用 (振り返りなど)

※ GIGAスクールプロジェクトリーダーによる実践事例を作成, 配布

(3) Stage 3 (～令和4年度)

[学習ログ (履歴) の活用]

- ・AIドリルの取組から, 苦手箇所を踏まえたテストや補習, 個別指導などを行う。
- ・蓄積された授業・学習データを活用した学習を行う。

4 教員研修 (令和2年度～令和3年度当初)

対象者等	ねらい	研修内容及び時期
管理職研修	校内推進力の強化	(1) 校長研修 [12月1日 (火)] 文科省 ICT 活用教育アドバイザーによる講演 (2) 教頭研修 [1月29日 (金)] 著作権に関する研修 (外部講師及び総研)
リーダー研修 ・教務主任 ・情報教育担当	校内リーダーの育成	(1) 総研による研修 ○活用に関する研修 [2月] (総研) ○デジタルアーキビスト研修 [3月] (総研) (2) Google による研修 ○Kick Start Program [4～5月] ※各校6名程度 ※指導主事及び GIGA スクールプロジェクトリーダー含む。
教職員共通	基本的操作及びICT活用スキルの向上	(1) 総研による研修 ○校内研修 [2月～4月] (GIGA スクールホーター・ICT 支援員・GIGA スクールプロジェクトリーダー・情報教育担当等による研修) ○オンライン研修 [～3月] (Google 研修用サイトによる研修) (2) ベネッセによる研修 ○ミライシード研修 [各校で設定]
公開授業	Chromebook の活用及びICT活用の実践	・下大野小学校 [12月2日 (水)] ※各小・義1名 ・第一中学校 [12月18日 (金)] ※各中・義1名

開館 40周年記念特別展
水戸市立博物館

昭和浪漫 思い出の宝石箱

— 思い出は煌めく星のように —

令和3年 2月6日(土) — 3月14日(日)

水戸市立博物館
4階・3階展示室

開館時間 9時30分～16時45分

休館日 月曜日

入場料 一般200円(20名以上の団体は150円)

主催 水戸市立博物館

18歳以下、65歳以上、身体障害者手帳・療育手帳・
精神障害者保健福祉手帳所持者と付き添い1名は無料、その他各種割引あり

認知症予防に

セルフ回想法に
チャレンジ!

懐かしい写真や資料を
みながら、昔を思い出して、
家族や友人と話し合いませんか。

人形制作:樋口 裕氏

特別展「昭和浪漫 思い出の宝石箱」の関連行事 《申込みが必要なイベントはTel.029-226-6521まで》

オープニングステージ

2月6日(土) 14:00～15:00【2F展示室】

★マンドリン・コンサート
「懐かしの昭和歌謡を楽しむ!」
ラ・ジュネス マンドリンクラブ

電話申込み:
1/13(水) 9:00から 無料 30名限定

昭和・ミニフェスタ 2月11日(木・祝)【2F展示室】

電話申込み:
1/14(木) 9:00から 無料 各回30名限定

11:00～12:00【午前の部】

14:00～15:30【午後の部】

★「ちんどん夢乃屋参上!」
ちんどん屋さんの練り歩き
小松崎 美恵子氏ほか

★まつり太鼓
から風

★「ちんどん夢乃屋参上!」
ちんどん屋さんの練り歩き
小松崎 美恵子氏ほか

★歌って踊る!パルーンパフォーマンス
(パルーンアート)
パフォーマンス MIHARU氏

★全集中「鬼滅の刃」パフォーマンスと紙芝居
小松崎 美恵子氏ほか

★全集中「鬼滅の刃」パフォーマンスと紙芝居
小松崎 美恵子氏ほか

1 「冬の天使」に会おう! 冬芽観察講座(座学)

講師▶浜口 喜夫氏・悦子氏

①2月13日(土) ②2月20日(土)

各日 10:00～11:30/13:00～14:30【視聴覚室】

電話申込み:
1/26(火) 9:00から 無料 各回20名限定

2 工作ワークショップ

各日 10:00～11:30/13:00～14:30【視聴覚室】

無料 各回小学3年生以下の親子
10組(20名)限定

電話申込み:1/29(金) 9:00から

キラキラ万華鏡を作ろう!

講師▶堤 徳郎氏

①2月7日(日) ②2月27日(土)

電話申込み:2/9(火) 9:00から

昭和のボンネットバスを作ろう!

講師▶高村 晴幸氏

①2月21日(日) ②2月28日(日)

貝殻水族館
～夏がくれば、
思い出す～

講師▶堤 徳郎氏

①2月14日(日) ②3月7日(日)

電話申込み:2/12(金) 9:00から

妖怪さまを作ろう!

講師▶本間 久廣氏

①2月23日(火・祝) ②3月13日(土)

3 ちんどん屋さんの練り歩き 全集中「鬼滅の刃」パフォーマンスと紙芝居

小松崎 美恵子氏ほか

各日 11:00～12:00/14:00～15:00
【2F展示室】

電話申込み:
2/16(火) 9:00から 無料 各回20名限定

①2月21日(日) ②3月6日(土) ③3月14日(日)

4 ドリーム・トーク「宇宙への夢と憧れ」

講師▶宇宙博士 中川 善通氏

2月28日(日)【2F展示室】
11:00～12:00/14:00～15:00

電話申込み:
2/18(木) 9:00から 無料 各回20名限定

アポロ11号月面着陸から半世紀、壮大な宇宙のお話を聞いた後、
宇宙博士にさまざまな宇宙への疑問をぶつけてみよう!お話の後は、ジャグリングでリラックス。

★昭和を知らない世代のお楽しみ★

庄巻の大型万華鏡をみよう!
昭和と令和のお弁当ワークショップ!

展示室に
常設

※お弁当は食べられません。

おことわり▶ 新型コロナウイルスの感染状況により、予告なく催事内容が中止または変更になる場合があります。

お願い▶ 入館時にはマスクの着用をお願いします。

入館時に検温と手指の消毒、氏名・連絡先のご記入をお願いします。

コロナウイルス感染症予防のため入場制限をお願いする場合があります。

水戸市立博物館 | みとしはく 検索

〒310-0062 茨城県水戸市大町3-3-20 Tel.029-226-6521

昭和浪漫 思い出の宝石箱

一思い出は
きら
煌めく星のように一

水戸の街の賑わいと子どものお楽しみ

昭和30～40年代には、現在のようなファミリーレストランもテーマパークもありませんでした。車もまだ各家庭に普及しておらず、遠出をするためには、バスや電車など公共交通の利用が一般的でした。そんな時代の子どもたちの最大の楽しみは、「街に行く」、すなわちデパートやお店の
ある繁華街にたまに出かけることでした。街中にはたくさんのお店があって、買い物を楽しむ人で賑わっていました。この時代は広告にも、個性的なデザインのものが多く高度成長期の勢いやエネルギーを感じます。



昭和33年 ミハシの広告



昭和36年 伊勢甚百貨店新装開店の広告



昭和39年 ふくだの広告



昭和34年 つるまるストア開店の広告

買い物を済ませた後の子どもたちのお楽しみはデパートの大食堂でのお昼でした。子どもたちに大人気のメニューは、「お子様ランチ」「ソフトクリーム」「クリームソーダ」などでした。



春の
全館無料
デー

梅開花記念

2月11日(木・祝)・2月23日(火・祝)

「雛まつり」応援ウィーク!

3月2日(火)～3月5日(金)

水戸の日

3月10日(水)

ハッピーウィークエンド

会期中の土日に限り、18歳未満のお子様1名につき大人1名が無料

水戸市立博物館

〒310-0062 茨城県水戸市大町3-3-20

Tel.029-226-6521

みとしかく 検索



交通
案内

(JR・バス)▶JR水戸駅から大工町方面行きバスで南町3丁目下車、常陸太田方面へ徒歩10分
(クルマ)▶常陸自動車道水戸インターまたは那珂インターより水戸方面へ20分
▶常陸自動車道水戸北スマートインターより水戸方面へ10分
(駐車場)▶約20台(無料・中央図書館と共用)
満車の場合は周辺駐車場(有料)をご利用ください



次回以降の教育委員会会議等日程（案）

令和3年1月7日現在

区 分	日 時	場 所	備 考
総合教育会議	令和3年2月4日（木） 午後4時から	市役所本庁舎 4階 中会議室 4	総合教育会議が追加となりました。
第2回教育委員会定例会	令和3年2月4日（木） 総合教育会議終了後	市役所本庁舎 4階 中会議室 4	総合教育会議開催に伴い、時間が変更になりました。
第3回教育委員会定例会	令和3年2月18日（木） 午後5時から	水戸市役所 4階 中会議室 4	
第1回教育委員会臨時会	令和3年3月中旬	市役所本庁舎 3階 教育委員会室	
第2回教育委員会臨時会	令和3年3月下旬	市役所本庁舎 3階 教育委員会室	
令和2年度末教職員辞令交付式	令和3年3月31日（水） 午後3時から	総合教育研究所 視聴覚ホール	
令和3年度始め教職員辞令交付式	令和3年4月1日（木） 午後1時30分から	総合教育研究所 視聴覚ホール	
第4回教育委員会定例会	令和2年4月8日（木） 午後5時から	市役所本庁舎 4階 中会議室 4	

※ゴシック体は、追加日程です。

※令和3年1月10日（日）開催予定の「成人の日式典」は延期になりました。